

今年も実りの稲穂 刈り取り、満足！ 樋口良子

上越市議会議員の有志で、合併後の平成19年から始めた田植え・稲刈体験は、今年で3年目。大島区選出の岩野議員や地元住民の皆さんのはからいで、大島区菖蒲地区の棚田で行っています。

今年は、カラ梅雨と低温の夏のため、収穫できないのではと心配していましたが、後半の好天候により、見事な稲穂が実り、15アールの田んぼから10俵近いおいしい米が収穫できました。

参加している議員の中には、私をはじめ、田んぼには全く入ったことがないメンバーもいて、鎌で一株刈る度に、歓声を上げるなど、作業では興奮しっぱなし。

作業の後のお楽しみは、地元の方に用意していただいたお昼ご飯です。新米のコシヒカリの塩おにぎりと、ぶっといぜんまいの煮物はとても美味しかったです。

岩野議員と地元の皆さんに感謝！！



見事に実った稲穂の田んぼにて岩野議員と

日本共産党上越市議員団ニュース

No.205 2009年10月25日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)

「市民生活脅かす日米共同訓練は中止を」の思いたばね



幅広い市民団体との共闘で日米共同訓練反対県民集会

去る10月17日、高田スポーツセンター駐車場で、日米共同訓練反対県民集会が開かれました。県内の労働組合や市民団体などから参加した約300人で、「暮らした脅かす共同訓練は即刻中止を」としたアピールを採択し、同会場から高田駅前通までデモ行進を行いました。

集会では、共闘会議や地域の会の代表などが、「外国の軍隊との共同訓練は世界平和を求める国際世論にも反するもの。市民を危険に巻き込む訓練は中止を」などと訴えました。

集会とデモには、議員団4名も参加しました。

いま、上越市議会では、議会基本条例策定検討委員会が中心になって、「議会基本条例」の策定作業を進めています。

この条例は議会活動の基本的ルールを定めるもので、全国ではすでに70を超える自治体で制定しています。

委員会では、議会・議員としての役割・責務を明らかにした「議会・議員の活動原則」や、市民参加の促進、機会の確保をめざす「市民と議会の関係」などの項目に沿って、具体的な条例案の案文の検討に入っています。

市民の声の代弁者として、市民により開かれた議会にするため、日本共産党議員団も積極的に関わっています。

検討委員会には、党議員団からは、橋爪団長が参加して議論を深めています。

妙高の地から無農薬ハーブ 農村議員連盟で視察

このたび、上越市食糧農業農村議員連盟の各部会が視察を行い、そのうち食料安全流通部会（樋口・平良木両議員所属）は妙高市の(株)妙高ガーデンなどを訪問しました。

妙高ガーデンは、7200坪もの広大なビニールハウスで、完全無農薬の大葉（青じそ）や高級ハーブを栽培している会社です。温度・湿度から出荷後の流通経路、販売先まで完全に管理し、一流百貨店などに365日絶え間なく確実に製品を出荷できる体制を確立し

ています。何よりも、冬場も含めて1年中絶えることなく仕事があり、地元の雇用確保にも一役買っているとのことで、単なるベンチャーとはいえない将来性ある農場という感を持ちました。



ハーブの味を確かめる樋口議員

ゴルフ場にならなくて良かった！ くわどり市民の森



去る6日、平良木議員は、年金者組合主催の「くわどり市民の森」を散策するハイキングに参加しました。

この森は、1989年に地元遊技場業者によってゴルフ場建設が計画された土地です。この計画には、水道水源に立地していることなどから、広い反対運動が巻き起こり、1993年に白紙撤回させることができました。

その後、市が買い取り、市民が自然を満喫できる施設として再出発しました。

緑豊かで、眺望も開け、野鳥も豊富なすばらしい森です。「ゴルフ場にならなくて良かった」と感じるこの土地です。

年金者組合のハイキングに同行
平良木議員